

社協

おうみはちまん



楽しい時間に、笑顔咲く。
 演奏や歌、絵画に手芸。工房も環境も。
 活動が楽しいと、まわりも楽しい。
 あちらこちらで、笑顔咲く。

目次

平成25年度 事業計画・重点目標 ……………	2	はちまんボランティアだより……………	5
平成25年度 予算 ……………	3	武佐学区地区社協ニュース……………	6
社協一般会費にご協力お願いいたします……………	4	民児協だより……………	7
赤十字運動月間・善意銀行……………	4	地域で輝く 男の居場所さがし講座……………	8



社会福祉法人 **近江八幡市社会福祉協議会**

本所 近江八幡市土田町1313
 TEL: 0748-32-1781
 FAX: 0748-36-6910

支所 近江八幡市安土町上出908-1
 TEL: 0748-46-2571
 FAX: 0748-46-5550



平成25年度 事業計画

事業方針

今年度は、「ボランティアセンター」の設立や障がい児者に関わる事業に力を入れると共に、積極的に地域に出向き顔の見える関係をつくる社会福祉協議会を指します。

特に、平成24年度に策定した地域福祉活動計画の実現に向け、社協の事業戦略や組織・経営基盤の強化に向けた計画「発展・強化計画」を策定し、安定運営を目指します。

また、それぞれの計画に基づいた地域福祉活動を推進し、『お互いさま』の心でつながる参加と支えあいのまち近江八幡』の実現をめざし、自治会や各福祉関係団体の方々と連携を深め事業を推進し、地域に密着した福祉活動を展開して、福祉サービスを提供する事業者として、住み慣れた地域で安心して暮らし続けていけるための事業運営を行なってまいります。

目標

重点

1 社会福祉協議会の基盤強化の取り組み

地域福祉活動計画の目標を達成するために、平成24年度から取り組んでいる発展強化計画の策定を引き続き行い、社会福祉協議会の基盤強化をめざします。

2 ボランティアセンターの取り組み

ボランティアセンターを設立し、市民が参画したボランティアセンター運営委員会を設置・運営をめざします。

3 災害ボランティアセンターの取り組み

災害ボランティアセンターの運営に向けたネットワークの構築をめざし、学区（地区）社会福祉協議会をはじめとした地域グループや行政と連携した取り組みを行なうとともに、日頃の地域福祉活動の実践をすすめていきます。

4 生活困窮者支援の取り組み

新たな生活困窮者支援が制度化されようとする中で、地域と連携した相談支援活動をより一層すすめていきます。

5 在宅福祉サービスの取り組み

障がい者福祉サービスにおける相談支援事業の計画相談に新たに取り組めます。また、介護保険サービスの認知症対応型・介護予防認知症対応型通所介護事業について、利用される方が増えるようサービス内容等の見直しを図ります。

地域福祉活動推進事業 (2,456千円)

- ・ 学区（地区）社会福祉協議会の支援
- ・ 地域福祉推進員活動の支援
- ・ 福祉協力員の支援
- ・ 学区（地区）社会福祉協議会会長会の開催

みなさまからの
会費・寄付金の財源で
社協は事業を行っています

福祉団体助成事業 (2,599千円)

- ・ 学区（地区）社会福祉協議会の助成
- ・ 団体助成（福祉団体・ボランティアグループ）

広報啓発事業 (1,140千円)

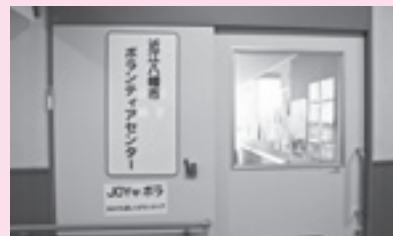
- ・ 広報紙「社協おうみはちまん」の発行
- ・ 市社会福祉大会の開催

ボランティアセンター運営事業 (1,954千円)

- ・ ボランティア活動支援
- ・ ボランティアセンター運営委員会の開催
- ・ ボランティアだよりの発行
- ・ 講座の開催（男の居場所・ちょボラ・災害ボラ等）
- ・ 災害ボランティアセンターの体制整備
- ・ ボランティア活動者同士の交流会
- ・ 関係機関（団体）との情報交換会等の開催



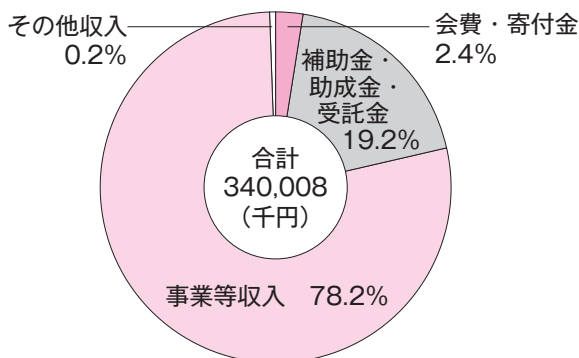
窓からは
白鳥川を
一望。



ボランティアセンターは
ひまわり館2階

一般会計収支予算額 340,008千円

収入科目	金額(千円)
会費・寄付金	8,254
補助金・助成金・受託金	65,198
事業等収入	265,983
その他収入	573
合計	340,008



平成25年度
予算

社協一般会費にご協力お願いいたします

「住み慣れた地域や家庭で、安心して暮らしていきたい…」だれもが願っていることです。しかし、地域にはひとりでは解決できない問題を抱え、支援を必要としている方がおられます。

社会福祉協議会って何？

市社会福祉協議会は、地域の住民やボランティア・福祉・保健などの関係者、行政機関などによって構成され、地域の幅広い住民組織や関係団体の参加・協力を得て、福祉のまちづくりをすすめる公益性の高い民間非営利組織です。

どんな取り組みをしているの？

在宅福祉サービスの提供や住民との連携による福祉活動の展開、民生委員児童委員活動やボランティア活動と連携し、みんなが安心して暮らせるまちづくりを目指して活動しています。



取り組みの財源はどうしているの？

その活動を推進していくための財源のひとつが、住民のみなさまからお寄せいただく会費です。この財源は、社会福祉協議会が民間組織としての住民を主体とした活気ある運営と事業の推進を図るために、欠かすことの出来ない大切なものです。

みなさまのご理解ご協力を、よろしくお願いいたします。

5月は「赤十字運動月間」です

これからの活動を続けていくために、みなさまからの活動資金が必要です。

赤十字の幅広い活動をご理解いただき、ぜひとも活動資金へのご協力をよろしくお願いいたします。

主な活動

- 国内災害救援
- 赤十字ボランティア
- 青少年赤十字
- 看護師の養成
- 赤十字病院
- 血液事業
- 国際活動
- 救援法などの講習

人間を救うのは人間だ。



善意 ありがとうございます

(平成25年2月～4月分)

地域福祉等のため、次のとおりご寄付をいただきました。助け合いや地域福祉活動等の支援に大切に活用させていただきます。皆さまのご厚意に厚くお礼申し上げます。(敬称略・順不同)

寄付金	
松原団地浄化槽維持管理運営委員会 様	18,372円
沖島小学校児童会 様	10,000円
ユニー(株)「小さな善意で大きな愛の輪」運動	
ピアゴ近江八幡店 様	22,885円
長谷川 博通 様	5,000円
長谷川 則子 様	2,000円



はちまんボランティア だより



～みんなで楽しくボランティア～

近江八幡市ボランティアセンター

市民参画によるボランティアセンター

ちょボラや男の居場所さがし講座などを開催し、より多くの市民がボランティア活動に参加する機会をつくり、住民同士の新たなつながりづくりを行ないます

- ◎活動に関する相談・活動支援およびマッチング
- ◎市民参画による運営委員会を設けたセンターの運営
- ◎退職前後の男性が地域参画できる支援の実施
- ◎ボランティアグループや市民活動団体の情報のデータベース化に向けた情報の集約

関係機関と連携した ボランティアセンター

NPOを支援する中間支援組織・民生委員児童委員・ボランティアグループ・行政等と連携を図ります

- ◎民生委員児童委員・福祉協力員・行政相談窓口などの関係機関との情報交換
- ◎施設・団体との連携によるボランティア活動の推進

災害ボランティアセンター開設・ 運営のためのネットワークづくり

関係機関と顔の見える関係づくりを行い、運営マニュアルの検討などを実施。また災害の講座を開催し、啓発活動を行ないます

- ◎災害ボランティアセンターの取り組み



活動したい人と活動に来てほしい場所をつなげます

ボランティアセンターは、誰でも利用できる、誰でも参加できる、センターです

ボランティアやろうかな？
仲間をつくりたいな、出来ることをいがしたい、
外に出るきっかけがほしい、活動先を紹介してほしい
など

グループメンバー募集中！
施設で話相手がほしい、演奏や体操などレクボラ募集中、
地域のサロンに芸能ボラ来てほしい、
手づくりおもちゃを作ってほしい など



相談者

相

依頼者

談

ボランティアセンター



マッチング



問い合わせ先

- 〒523-0082 近江八幡市土田町1313番地
- 社会福祉法人 近江八幡市社会福祉協議会 地域福祉課 担当：吉村
- Tel：31-2677 Fax：36-6910

ご存知ですか？あなたの町の社協活動

学区地区社協ニュース



武佐コミュニティセンターの外観

武佐学区社会福祉協議会

所在地：近江八幡市友定町305

Tel・Fax：37-6017

学区社会福祉協議会の役割については、地域におけるさまざまな福祉問題について話し合い、時には関係機関や専門家の意見を聞きながら、課題解決に向けた最善の方策や事業などについて協議をしていきたいと考えています。

武佐学区社会福祉協議会
会長 川村裕治

武佐学区地域福祉計画

**「お互いさまの心でつながる、
参加と支えあいのまち 武佐」**

- ①高齢者が安心して暮らせるまち、いきいきと暮らせるまちをつくろう！
- ②安心して子育て・子育てができるまちをつくろう！
- ③若い世代が積極的に地域活動に参加出来るまちをつくろう！
- ④持てる力でボランティア活動(地域活動等)に参加し、みんなで住みよいまちをつくろう！

自分のことは自分で！

サポーター教室

地域課題の高齢化を受けて、10月10日・24日、11月14日・21日に「介護予防は地域でなう町づくり」をテーマに、いくつになっても自分のことは自分のことで出来る生活を目指して、若いと認知症予防サポーター教室を開催し、また3月にはフォローアップ研修を実施しました。受講者は今後福祉ボランティアで活躍をしていきます。



一人暮らし高齢者見守り活動

毎年4回、(年1回はまち協の健康福祉部会と合わせて) 独居老人見守り事業「一人暮らし高齢者宅への訪問を行なっています。

訪問では、高齢者の方が食べやすいお菓子(まち協と合同の時は手づくり品)をお持ちして、安否確認を兼ねておしゃべりをしています。

心待ちにされている方・状況の変わられている方変わられていない方などがおられ、訪問活動の大切さを実感しています。





桐原学区の取り組みを紹介します！

近年、一段と加速するわが国の少子高齢化で、高齢者の単身世帯や高齢者だけの世帯の増加に伴い、救急搬送時において医療情報等の不明による初期処置の遅れが医療現場で大きな問題になっています。

そうした緊急時に起きる問題を少しでも解決できればという観点から、救急医療情報システムが開発され、そのキットが「命のバトン」と名づけられました。

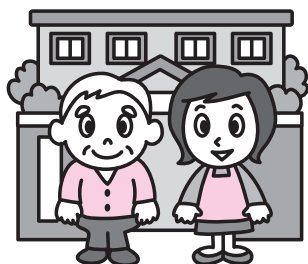


高齢者の単身世帯や高齢者世帯の増加！

命を左右する初期処置に「命のバトン」が鍵！

近江八幡市で高齢者福祉政策の一環として、「命のバトン」の導入が実施されたことにもない、桐原学区民生委員児童委員協議会が、一斉配布事業に取り組みました。

私たちの日常生活の1つが、“住民の福祉需要に対応し、適切なサービスの提供が図られるように支援する”といった具合に、「命のバトン」の精神と相通ずるものがあります。また、この事業は一時的な配布で終わるものではなく、システムの更新をしなければいけないという持続性の観点から、民生委員が担当することが相応しいと判断したからです。



桐原学区内65歳以上の1人暮らし高齢者約630世帯、要援護者世帯・昼間独居高齢者世帯等々およそ800世帯を目処に配布することにいたしました。

おかげさまで、各地域の自治会長さんをはじめとして福祉協力員、ボランティアの皆さまのご協力をいただき、初期の目標を達成することが出来ました。

関係者のみなさまのご協力に厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

地域で輝く★男の居場所さがし講座

やがて定年を迎え、家に地域に帰ってくる。

今まで会社中心の生活で近所づきあいが少なかった男性にとって、60歳前後からの時間をどのように地域の中でいきいきと暮らしていただけるかが、大きな課題となります。目覚ましの鳴らない自由な時間を、この講座で出会う仲間たちと、楽しい地域デビューをしませんか？

退職、そして地域へ。はじめの第1歩を踏み出しましょう!!



7/26(金)	8/1(木)	8/8(木)	8月下旬～	8/27(火)	9/13(金)	9/18(水)	9/21(土)
9:30～11:30	9:30～14:00	9:30～11:30		9:30～11:30	9:30～12:30	9:30～11:30	9:30～14:30
オリエンテーション	栄養満点！料理の基本	地域活動を知ろう！	地域活動を体験！	認知症について	近江八幡を知ろう！	退職後の健康管理	お蕎麦を作ろう！
本格珈琲の入れ方	男の料理教室	先輩と交流会	市内各グループ	認知症学習会	市内ウォーキング	健康づくり学習会	講座振り返り

対象 市内在住のおおむね58歳～68歳の男性で、原則全講座受講できる方
 (平成13年～24年実施の男性のための仲間・健康づくり講座に参加された方、現在退職後男性自主活動グループに所属されている方は除きます)

定員 20名

場所 総合福祉センターひまわり館

参加費 基本的には無料(内容により負担あり)

申込期間 平成25年6月17日(月)～7月1日(月)

申込方法 電話・Fax
 ★申込みの際、名前・生年月日・住所・電話番号をお伝え下さい。



申込み後、詳しい日程・内容・持ち物等をご案内させていただきます

お問合せ・申込先 〒523-0894 近江八幡市中村町25番地(市民保健センター内)
 近江八幡市福祉子ども部健康推進課 Tel: 33-4252 Fax: 34-6612

この事業は、市より委託を受け社会福祉協議会が実施いたします

※ 情報は、個人情報保護に基き、本事業の関連のみで使用とし、他の目的に使用することはありません



この印刷物は、有害な廃液を排出しない水なし印刷を採用しています。また、大豆油インキを包含した植物油インキを使用しています。